

夜回り

# 山田先生

西陵商ラグビー部元監督



▶15◀

## 豪州の果てしなない大地、特大ステークに驚き



▼山田耕二(やまだ こうじ) 名古屋市中区生まれの73歳。元ラグビー日本代表。西陵商(現西陵)監督として1997年、全国高校大会で愛知県勢初優勝に導く。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県弥富市で老人ホームの理事長を務める。

西陵商では3年に1度、オーストラリアやニュージランドに海外遠征していた。私は「ラグビーを通じた人間教育」を常に念頭に置いていた。国際化が進んだ今、社会に出る前に海外の文化に触れておくことも重要だと考えていた。きっかけは1990年

と約束してしまったのだ。

西陵商単独でのオーストラリア遠征。約束したとはいえ、当時は高校の部活動が海外遠征する前例がなかった。市議会や教育委員会からは猛反対を受けた。

私は何度も教育委員会に足を運んで直談判した。何とか許可が下り、91年に第1回の海外遠征が実現した。

現地でホームステイを体験し、生徒たちは新しい発見を

「飛行機が墜落したらどうする。君の退職金だけでは賠償できないぞ」、「勝手に海

に、岐阜県の関商工や名古屋高といった近隣の強豪校も海外遠征に行くようになった。

# 猛反対乗り越え海外遠征実現

西陵商の海外遠征を皮切りに、岐阜県の関商工や名古屋高といった近隣の強豪校も海外遠征に行くようになった。